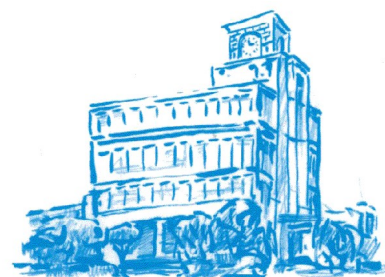




OJTを効果的に推進しよう

伊丹市立総合教育センター
所長 永嶺 香織

ある教育委員会が教員に対して行った「どういう機会が教員としての自分を育てたか」というアンケート結果があります。回答を多い順に並べますと、「管理職や先輩方の助言指導」、「授業研を含めた校内研修」、「学年で割り当てられた仕事や校務分掌」、「職員室での同僚との日常の会話」と続いています。



教員の学びは、OJT (On-The-Job-Training)、OFF-JT (Off-The-Job-Training)、SD (Self-Development) などがあり、どの学びも資質・向上のために欠かせないものです。とりわけ、OJTは、現場において職務を通して学ぶことや同僚と共に学ぶことから、実践に結びつけやすく自身の育ちを実感できる学びとなるのです。

伊丹市では、近年、急速に教員の世代交代が進んでいます。これまで学校教育で培われてきた知識や技能の伝承、若手教員の育成、若手とベテランをつなぐミドルリーダーの育成等が課題となっています。また、急速な社会変化により、学校を取り巻く課題が複雑化・多様化し、困難を極める問題への対応も大きな課題となっています。

授業改善や学級経営等への具体的な個別指導、自校の課題を共有した全教職員での校内研修、さらに学年で割り当てられた仕事や校務分掌等の職務を通じた学び等、学校が抱える課題の解決を図るためには、OJTの意義は極めて大きいと考えます。さらに、OFF-JTで得られた学びを自校の研修に活用することもOJTの充実を図り、学校の力を高めることにつながります。育成される側が将来は育成する側になるという校内での人材育成機能の確立を図ることにもつながります。

様々な課題の解決には、全教職員がそれぞれのライフステージにおいて必要とされる資質・能力を磨き、学校の教育力やチーム力を向上させることが重要です。多忙な中でも、業務改善を進めながら学びの時間を確保し、資質・能力を磨くOJTを地道に進めていきたいものです。

教師も「主体的・対話的で深い学び」を！ ～「働き方改革」の先にある「働きがい改革」へ～



2022年7月1日をもって教員免許更新制が発展的に解消されました。これからは、「**現場の経験**」を重視した学びがより一層求められています。教師自身が、自らの強みを伸ばすことができるよう、**個別最適な学び**に加え、知識技能の習得だけでなく、資質能力を広く身に付けていくための**協働的な学び**も重要となってきます。

子どもが**通いたい学校**
保護者が**通わせたい学校**
教師が**働きたい学校**

まずは

学ぶ時間の確保

教師同士の「学び合い」で 個人の資質+学校力をアップ！

学校には様々な経験、特技をもった先生方がおられます。お互いを尊重し、良さを生かしながら、学び合えるチームとしての職員集団を作っていきましょう。個人の学びが、学校全体の学びに、そして、学校力アップにつながっていきます。

授業を見せ合おう！

日頃から積極的に**お互いの授業を参観し合いましょ**う。そして、気付いたことはお互いに伝え合いましょ。人から指摘されることは恥ずかしいことはありません。**自分が成長するチャンス**と捉えましょ。

研修動画を活用しよう！

独立行政法人教職員支援機構は、「校内研修シリーズ」という研修動画を公開しています。学校や自分の課題にあった動画がきっと見つかります。個人で視聴するだけでなく、校内研修で活用することも効果的です。

(<https://www.nits.go.jp/>)

(動画の例)

- ・1人1台端末の活用による情報活用能力の育成
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
- ・深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント

研究発表会に参加しよう！

今年度、市内では小学校6校、中学校2校で研究発表会が実施されます。また、市外でも多数研究発表会が予定されています。積極的に研究会に参加ましょ。そして、**学んだことは、実践してみましょ**。教師としての引き出しを増やすことにつながります。また、文章化するなどして**学びの成果を可視化**することも大切です。

コロナ禍で、研究発表をオンラインで開催している学校もあります。今までは行けなかった日本各地の研究会に参加することができるようになりました。ぜひインターネットで探してみてください。

今年度の市内研究発表校（学校力アップ事業）

11月2日(水) 池尻小学校	11月29日(火) 松崎中学校
11月7日(月) 西中学校	1月26日(木) 伊丹小学校
11月18日(金) 鴻池小学校	2月2日(木) 神津小学校
11月22日(火) 花里小学校	2月10日(金) 瑞穂小学校

こんな取組も！

スキルアップ研修会



有岡小学校
「ありんこカフェ」の様子

校内の教員が講師となるミニ研修会を実施している学校が増えてきました。若い教員への技の伝達だけでなく、職員間の「**協働**」の雰囲気をつくることにもつながっています。

文部科学省は、「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること**」を働き方改革の目的としています。



※働き方改革の事例
(左) 兵庫県教育委員会 先進事例集 (GPH50)
(右) 文部科学省
改訂版 全国の学校における働き方改革事例集
(令和4年2月)

【参考】「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現にむけて 審議まとめ 公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針 (改正案)

令和4年第4回伊丹市議会における質問

令和4年第4回伊丹市議会（9月定例会）における、「ICT教育」の質問趣旨及び伊丹市教育委員会事務局の答弁を抜粋、要約して紹介します。

【質問趣旨】

これからの本市のICT教育の展望をお教えてください。



【答弁内容要約】（学校教育部長答弁）

ICT教育は、「確かな学力の育成」をはじめ、これからの教育にとって欠かせないものと考えております。現在、「確かな学力の育成」については、「**授業改善**」と「**誰一人取り残さない取組**」に継続して取り組んでいるところですが、これらの取組の鍵を握っているのが、まさに、ICT教育です。

令和3年1月、中央教育審議会答申において「令和の日本型学校教育の構築を目指して」が示されました。Society 5.0時代の到来や新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な時代の中で育むべき資質・能力として、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」が挙げられ、その実現への方策として2つ、「**①学習指導要領の着実な実施**」と「**②ICTの活用**」が示されました。そして、この「ICTの活用」については、**全ての子どもたちの可能性を引き出すための、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現**が求められました。

これまでの、一斉授業による正解主義や同調主義が、様々な個性を持つ子どもたちの自立を阻んできた可能性があります。このような事態に至った原因として、ICTがなかった時代には、子ども達が様々な知識にアクセスすることは容易ではなく、「教師が『知識』を子どもたちに伝えるしか手段がなかったこと」が考えられます。しかし、今は、一人1台のタブレットが整備され、やる気さえあれば自分で知識にアクセスできるようになりました。劇的に環境が変化している今こそ、ICTを有効に活用して、これまでの「授業形態」を見直し、**一人ひとりの特性に合わせた学び**の実現をめざす大きな転換期であると言えます。

紙とタブレットにはそれぞれの良さがあります。例えば、紙は、大きな一面に図表などを含めた多くの情報を載せることができ、ページをめくったり、スクロールをしたりすることなく、それらの情報を一目で読み取ることが可能です。一方タブレットは、自分が考えたことや友達の意見を書いたメモ、撮影した黒板や動植物の写真など、様々な情報を安易に保存することができ、さらに、必要な情報は検索して取り出すことも可能です。これらの他にも多くの特長がありますが、重要なことは**指導者自身がこれらの良さを理解、意識した上で授業を行う**ことが、ICTの有効活用につながるということです。また、場面によっては、子ども達に「紙かタブレットか」を選択させるなどして、**主体的に学ぶ力**を育成するという視点も忘れてはなりません。

ICTは、**未来を生きぬく子どもたちに必要不可欠なツール**です。本市においては、今後、様々な機関が発信する研究結果等に注視していくとともに、「紙かタブレットか」「アナログかデジタルか」ではなく、「**アナログもデジタルも**」バランスよく組み合わせしていくことを基本とした上で、ICTの効果的な活用法について研究し、実践の共有を進めてまいりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

※他にも、「不登校児童生徒への対応」「インクルーシブ教育」等に関するご質問がありました。

発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <https://www.itami.ed.jp/>

＜教育相談＞
電話 072-772-6171（電話相談）
072-780-2484（来所相談）
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
（来所・電話相談）
月・火・木・金 : 9:00~18:00
水・土 : 9:00~17:00

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

